

## 報告第 1 号

## 令和 4 年度 利用促進策の実施状況について

## 1 利便性の向上

## (1) 誰もが利用しやすいダイヤの編成

乗務員や車両運用などを踏まえ、現行ダイヤから 24 本増便し、運行本数を 126 本（うち快速 8 本）とした想定ダイヤを検討

今後は、JR との協議を本格化させ、新幹線や特急、新快速など JR 列車等との接続について調整を行い、令和 6 年早々には開業時の詳細ダイヤを公表予定

## (2) 新駅の設置

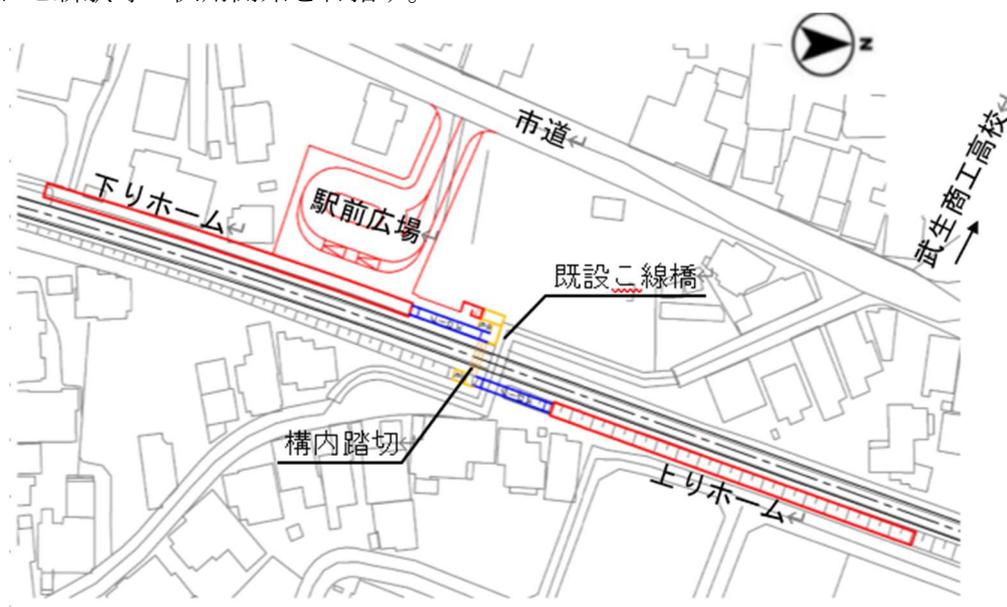
## ① 越前市新駅

越前市とハピラインが連携し、武生商工高校生とのワークショップ（7 月）や地元説明会を適宜開催



地元意見を取り入れながら、駅ホーム、駅前広場等の基本設計を完了

令和 5 年度に詳細設計、令和 6 年度に工事着手し、令和 7 年春の武生商工高校のワンキャンパス化にあわせ新駅等の供用開始を目指す。

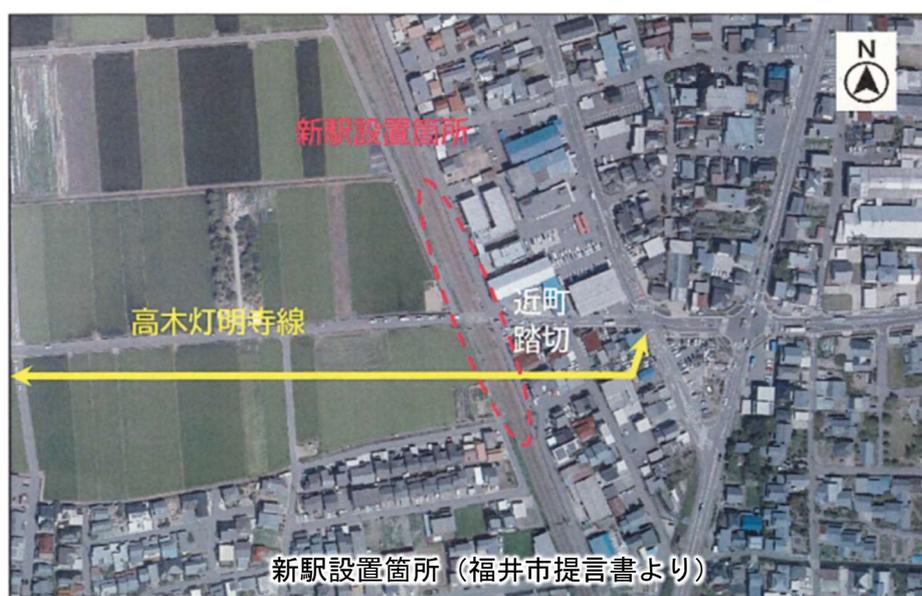


## ②福井市新駅

新駅の候補地3箇所から1箇所に絞るため、福井市が学識者や交通事業者らで構成する「新駅設置候補地検討会議」を設置（6月）し、地域住民や企業、学校などを対象とした利用者アンケート調査や費用便益分析調査の結果を踏まえながら検証

本年1月に、福井市からハピラインに対し、検討会議での議論を踏まえ、「近町踏切付近」を候補地とする提言書を提出

ハピラインふくいの取締役会（3月）で、新駅の候補地を「近町踏切付近」とし、できるだけ早く新駅が設置できるよう協議を進めていくことを議決



今後は、福井県・福井市・ハピラインによる検討会議を重ね、駅舎やホーム等の駅施設、周辺道路（都市計画道路高木灯明寺線）の整備を進める。

## 2 駅を中心としたまちづくり

### (1) 既存駅のモデルチェンジ

#### ①鯖江駅

鯖江市が鯖江駅東口等整備基本計画を策定（8月）し、駅の東西をつなぐ自由通路の整備や、東口にはロータリーや複合施設の整備と改札口新設、西口には既存駅舎の改修とロータリーの整備等の基本設計に着手

今後は、鯖江市とハピラインが連携し、福井県の「駅まち魅力づくり支援事業」を活用しながら進める。



## (2) 駅、駅周辺のにぎわいづくり

### ①今庄そばまつり (R4. 5. 22)

今庄宿や今庄駅周辺において南越前町の今庄そば祭り（5月）を開催し、鉄道利用者には200円分のクーポン券を発行

来場者数：約6,000人



### ②アフレア生誕祭 (R5. 3. 19)

芦原温泉駅西口賑わい施設「アフレア」のオープンを記念して生誕祭を開催 来場者数：約8,500人



### ③つるが鉄道フェスティバル2023 (R5. 3. 18~19)

敦賀駅西口周辺で北陸新幹線敦賀開業の1年前イベントを開催  
ハピラインふくいのパンフレットを配布し、開業をPR

来場者数：約5,000人



### ④福井市環境フェア (R4. 11. 3)

福井駅西口にぎわい交流施設「ハピテラス」において、持続可能なまちづくりを考える親子向けイベントを開催

北陸新幹線福井駅舎見学会も同時開催。環境フェアでは、新幹線関連の缶バッジづくり体験ブースを設け、開業をPR

来場者数：3,600人



### ⑤北陸新幹線 ウェルカムフェスタ (R5. 3. 25)

福井駅西口にぎわい交流施設「ハピテラス」において北陸新幹線開業1年前イベントを開催し、公共交通利用者にはノベルティをプレゼント 来場者数：3,000人



### 3 地域鉄道など他の交通事業者との連携

#### (1) 県内地域鉄道との連携

##### ①えちぜん鉄道、福井鉄道との鉄道事業連携

地域鉄道事業連携連絡会議幹事会の開催 (R4. 6. 3)

地域鉄道事業連携3社会議、合同勉強会の開催 (R4. 4. 25、R4. 11. 4、R4. 12. 8)

#### (2) 県外並行在来線との連携

##### ①北陸三県並行在来線利用促進連携事業

利用促進検討チームの開催 (計4回開催、具体的な連携策を検討)

<実施(案)>

- ①共通フリー切符の発行
- ②開業記念スタンプラリーの共同実施
- ③車内広告を活用した3県相互の観光PR
- ④観光・イベント列車の共同運行



##### ②鉄道フェア2023 in アリオ上田への参加 (R5. 1. 9)

しなの鉄道が主催する鉄道イベントに福井鉄道、えちぜん鉄道、ハピラインふくいの3社が参加し、福井県の魅力をPR



### 4 地域に親しまれる鉄道への転換

#### (1) 会社名の公募、ロゴマーク、制服等の公表

会社名：公募 (16,709件)、検討委員会を経て「ハピラインふくい」に変更 (7月)

ロゴマーク：候補3案に対する意見公募を経て決定 (8月)

制服：スマートさと親しみやすい印象で、接客服はグレーを基調に、ロゴマークの「ピンク」を、技術服には「ライムグリーン」を採用 (3月)



## (2) 県民の参画

### 地域活動支援事業【協議会事業】

- ・ 並行在来線の利用促進などに取り組む地域団体等へ奨励金を交付（7団体）

#### 交付実績

##### ≪森田駅≫実施団体：森田地区文化委員会

- ・ 事前に行った駅活用ワークショップ（6/18、7/23、8/20に実施：参加者60人）での意見を基に社会実験「MoRe:Sta」を実施（R4.11.20）
- ・ 30、40代の子供（乳幼児）連れの方が多く参加（参加者：約225人）
- ・ 次年度の社会実験の参考とするため、アンケートを実施（回答者：112名）



##### ≪敦賀駅≫実施団体：NPO法人 THAP

- ・ 金ヶ崎緑地、駅前・商店街アーケード等を清掃（参加者 延べ約25名）
- ・ 「つるがおもてなし隊」に参加している市内高校生（8名）と敦賀駅等を視察し、並行在来線の利活用について意見交換会（25名）を実施（R4.10.23）



##### ≪鯖江駅≫実施団体：NPO法人 小さな種・こころ（市内高校生も参加）

- ・ 鯖江駅を中心としたまちづくりをテーマに、若い世代が交流できる拠点づくりなどについて勉強会を開催（R5.3.8：参加者35名）
- ・ 開業1年前駅ライブラリーtetoteキャンペーンイベントを開催（R5.3.9～10：来店者123名）



《細呂木駅》実施団体：NPO法人 細呂木地区創成会

- ・ 細呂木地区の観光地である神宮寺城跡の開城記念鉄道ツアーを実施（R5. 3. 28：参加者 5 名 ※3. 26 荒天のため順延）
- ・ 鉄道利用での参加者限定に御城印をプレゼント



JR利用者の受付



城跡案内



射撃体験

《王子保駅》実施団体：王子保地区自治振興会

- ・ 「王子保駅」をテーマとした川柳や俳句などの作品を募集（R5. 2. 15～R5. 2. 28）し、受賞作品を決定、駅に掲示。（応募数 229 件）
- ・ 作品募集とともに鉄道や駅舎の利用促進アイデアも募集（応募数 61 件）



ポスター掲示



最終審査会



入賞作品展示

《丸岡駅》実施団体：丸岡駅にこにこプロジェクト（市内高校生との共同事業）

- ・ 駅舎をイルミネーションし、点灯式を実施（R4. 12. 5：参加者約 50 名）
- ・ 駅舎内にバルーンアートを展示し、インスタ映えスポットを創出（R4. 12. 3 スポット設置）



イルミネーション点灯式



バルーンアート



インスタ映えスポット

### 《今庄駅》実施団体：(一社) 南越前町今庄観光協会

- ・ 無人となった切符販売所をレトロな雰囲気に装飾し、インスタ映えスポットを創出 (R4. 12～スポット設置：利用者約 5 人/日)
- ・ スポットを撮影した画像を SNS に投稿すると抽選で特産品が当たるキャンペーン実施 (R5. 1～R5. 3：応募数 10 件)



## (3) マイレール意識の醸成

### ①調査研究事業【協議会事業】

開業 1 年前イベントとして、並行在来線の持続可能な経営や地方鉄道の課題について考える講演会を開催 (R5. 3. 5：参加者約 130 名)

<講演>講師：しなの鉄道(株) 専務取締役 岡田忠夫氏

<トークセッション>岡田氏とハピラインふくい小川社長

今後の利用促進の参考とするため、アンケートを実施 (回答者：73 名)



### ②普及啓発事業【協議会事業】

- ・ 普及啓発用パンフレットを作成 (R5. 2：3, 000 部)  
開業 1 年前イベント等で配布



## (4) 福井県並行在来線利用促進協議会の開催【協議会事業】

- ・ 福井県並行在来線利用促進協議会幹事会の開催 (R5. 1. 12)

**議題** ハピラインふくいの利用促進に向けた取組みについて  
福井県並行在来線地域公共交通計画の改訂(案)について